

数 学 科 1 年

教科の目標

- ① 正負の数の四則演算ができるようになる。またそれらを利用し、文字式の計算ができるようになる。
- ② 方程式の計算、文章問題ができるようになる。
- ③ 比例関係、反比例関係の事象はどのようなものかを理解し、式やグラフを書くことができるようになる。
- ④ 平面図形や空間図形について直観的な見方や考え方を深め、論理的に考察し表現する能力を培う。
- ⑤ 目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力を培う。

学習計画

1学期 (週2時間)			2学期 (週2時間)			3学期 (週2時間)		
月	週	内容	月	週	内容	月	週	内容
4	1	オリエンテーション	9	18	2. 文字式の計算	1	35	4. 比例と反比例の利用
	2	0章 整数の性質		19	中間考査(14～15日)		36	
	3			20			37	7章 データの分析と活用
	4	1章 正負の数		21		2	38	1. データの整理と分析
5	5	1. 正負の数	10	22	3. 文字式の利用		39	2. データの活用
	6			23	3章 方程式		40	3. ことがらの起こりやすさ
	7	2. 加法と減法		24	1. 方程式とその解き方		41	学年末考査(26～28日)
	8			25		3	42	1年生の復習
6	9	3. 乗法と除法		26	2. 1次方程式の利用		43	
	10		11	27			44	
	11	期末考査(14～16日)		28			45	
	12	4. 正負の数の利用		29	4章 比例と反比例			
7	13			30	1. 関数			
	14	2章 文字と式		31	2. 比例			
	15	1. 文字を使った式	12	32				
				33	3. 反比例			
				34				

評価について

評価資料	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	観点の割合	33%	観点の割合	33%	観点の割合	33%
	小テスト 定期考査		小テスト 定期考査 提出物		小テスト 定期考査 提出物 授業観察	

学習の仕方と評価のポイント

- 復習がとても大切です。授業で学習したことは、必ずその日の内に復習して下さい。そして、次の授業につなげて下さい。
- 力を定着させるには繰り返し問題を解くことが大切です。力を伸ばすには、できなかった問題や間違えた問題の解き直しをするとともに、難しい問題にもチャレンジすることが大切です。
- 提出物や問題集の点検では、正解し、理解しているかを見るだけでなく、間違えた問題は解き直し、理解に努めているかも見ます。

数 学 科 1 年

教科の目標

- ① 正負の数の四則演算ができるようになる。またそれらを利用し、文字式の計算ができるようになる。
- ② 方程式の計算、文章問題ができるようになる。
- ③ 比例関係、反比例関係の事象はどのようなものかを理解し、式やグラフを書くことができるようになる。
- ④ 平面図形や空間図形について直観的な見方や考え方を深め、論理的に考察し表現する能力を培う。
- ⑤ 目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力を培う。

学習計画

1学期（週2時間）			2学期（週2時間）			3学期（週2時間）		
月	週	内容	月	週	内容	月	週	内容
4	1	オリエンテーション	9	18	中間考査(14～15日)	1	35	
	2	5章 平面図形		19			36	
	3	1. 図形の移動		20			37	
	4			21		2	38	
5	5	2. 基本の作図	10	22	6章 空間図形		39	
	6			23	2. 立体の見方と調べ方		40	
	7			24			41	
	8			25	学年末考査(26～28日)			
	9			26		3	42	1年生の復習
6	10	期末考査(14～16日)	11	27			期末考査(13～15日)	43
	11			28				44
	12			29		45		
	13			30				
7	14			31				
	15			32		3. 立体の体積と表面積		
			12	33				
				34				

評価について

評価資料	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	観点の割合	33%	観点の割合	33%	観点の割合	33%
	小テスト 定期考査		小テスト 定期考査 提出物		小テスト 定期考査 提出物 授業観察	

学習の仕方と評価のポイント

- 復習がとても大切です。授業で学習したことは、必ずその日の内に復習して下さい。そして、次の授業につなげて下さい。
- 力を定着させるには繰り返し問題を解くことが大切です。力を伸ばすには、できなかった問題や間違えた問題の解き直しをするとともに、難しい問題にもチャレンジすることが大切です。
- 提出物や問題集の点検では、正解し、理解しているかを見るだけでなく、間違えた問題は解き直し、理解に努めているかも見ます。